

## 平成29年度留学補助金交付対象者

## 1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究

(多能性幹細胞、免疫／幹細胞治療、移植、再生医療、遺伝子治療、分子標的治療等の研究)

No.	氏名	所属機関名	研修テーマ
1	有村 純暢	東京大学 医科学研究所 腫瘍抑制分野	薬剤耐性転移癌に対する新規治療技術の開発
2	服部 一輝	東京大学 大学院薬学系研究科 細胞情報学教室	三次元腸管形成に向けた網羅的シグナル伝達解析
3	横井 暁	名古屋大学 大学院医学系研究科 総合医学専攻発育・加齢医学講座 産婦人科学	卵巣がんにおけるエクソソーム標的治療戦略の開発

## 2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究

(ゲノムの機能、遺伝子疾患解析、疾患のエピジェネティクス、SNP解析、分子疫学等の研究)

No.	氏名	所属機関名	研修テーマ
1	勝田 毅	国立がん研究センター研究所 分子細胞治療研究分野	成熟肝臓リプログラミングを制御するエピジェネティクス機構の解明
2	林 玲匡	東京大学医学部附属病院 病理部	網羅的ゲノム・エピゲノム解析を用いた膵・胆道領域の癌のクローン進展と組織形態像の変化
3	吉田 健一	京都大学 大学院医学研究科 腫瘍生物学	次世代シーケンス技術を用いた造血器腫瘍および正常造血の解析

### 3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究

(免疫制御、アレルギー、炎症、自己免疫疾患、免疫不全、老化、  
サイトカイン／ケモカイン、免疫調整薬、生物学的製剤等の研究)

No.	氏名	所属機関名	研修テーマ
1	神田 真聡	北海道大学 大学院医学研究院 内科学講座免疫・代謝内科学教室	ループス腎炎の腎組織におけるゲノム・ トランスクリプトームによる統合的解析
2	三井 千尋	相模原病院 臨床研究センター 病態総合研究室	重症喘息・アレルギー疾患におけるバイ オマーカー研究
3	峯岸 薫	横浜市立大学附属市民総合医療セ ンター リウマチ膠原病センター	関節リウマチ患者における食塩摂取量と 心血管疾患の関係
4	目黒 和行	千葉大学医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科	Strawberry Notch Homolog 2の機能喪失 変異による新規ヒト免疫不全症の同定

### 4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究

(心疾患、脳血管疾患、血管系疾患、血液、糖尿病、高血圧、高脂血症、  
メタボリックシンドローム等の研究)

No.	氏名	所属機関名	研修テーマ
1	小野寺 俊晴	大阪大学 大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科	白色脂肪組織の生理学、ミトコンドリア 機能とアディポネクチン
2	田中 一	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器外科学教室	腎手術が心血管リスク因子を有する患者 の自然史に与える影響の解析：早期腎癌 に対する最適治療選択に向けて
3	日尾野 誠	名古屋大学 大学院医学系研究科 心臓外科学	大規模データベースを用いた、心臓外科 手術周術期諸因子の遠隔成績に与える影 響の疫学的解析
4	望月 牧子	千葉大学 大学院医学研究院 細胞分子医学	造血幹細胞の発生およびファンconi貧血 の発症における胎児肝ニッチの役割
5	山本 毅士	大阪大学 大学院医学系研究科 腎臓内科学	腎疾患におけるシャペロン介在性オート ファジーの役割解明と治療法の開発

## 5) 創薬・創剤の基盤に関する研究

(創薬標的分子の探索／機能解析／治療制御、薬物送達、薬物代謝酵素、トランスポーター、イオンチャネル、分子イメージング等の研究)

No.	氏名	所属機関名	研修テーマ
1	黒部 匡広	筑波大学 大学院人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻腎泌尿器外科学 分野	多種の新規低活動膀胱病態モデルマウス 確立による、低活動膀胱の病態解明と新 規標的分子の探索
2	森田 剣	京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻血液・生体防 御学研究室	急性白血病におけるsuper-enhancerの網 羅的解析及び標的治療薬の開発

## 6) 創薬とその臨床応用に関する研究

(薬物応答修飾因子の探索／機能解析、治療薬の探索／評価、医薬品の開発／評価、個別化医療、トランスレーショナルメディシン等の研究)

No.	氏名	所属機関名	研修テーマ
1	小林 正和	金沢大学 医薬保健研究域附属健康増進科学 センター	核医学分子イメージング法を利用した精 神神経疾患に対する個別化薬物治療の効 果予測法の開発
2	佐藤 元	大阪大学 大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座口腔生理学 教室	Hedgehog シグナル伝達経路阻害薬誘発性 味覚障害の発症機構の解明とその評価法 の開発
3	山室 和彦	奈良県立医科大学 精神医学講座	社会行動の基盤となる前頭葉神経回路の 発達機構の解明とその克服